ＮＯ．２－１

２０２１（令和３）年度事業報告

恩方育成園

社会福祉法人　東京都手をつなぐ育成会統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

恩方育成園サブミッション

「私たちは、一人ひとりに在る力を活かし本人らしい人生を実現します。」

１．全体状況

親亡き後及び８０５０問題を依然として抱え続けている中で９０６０へと移り変わろうとしており、重度・高齢化への対策が求められている。当園においても、平均年齢が５４歳、最高年齢が８２歳、５０歳以上の方が４０名を超え高齢化から高齢期へと移り変わってきている。

その中にあって、ふれあいルームに誰でもトイレの設置や看護機能の変更、ＩＣＴ機器などを導入した健康観察などの生活環境の整備や口腔ケア及びリハビリ委員会を設置し、言語聴覚士によるラウンド及び個別相談、口腔ケア指導や理学療法士による個別リハビリメニューの作成・個別訓練の実施などの身体機能低下予防、また、音楽活動やレクリエーション及び生産・創作活動など、動的・静的活動とメリハリをつけた活動プログラムの改善によるＱＯＬの充実と向上に取組んできた。

地域生活支援拠点の役割を担う「願いを実現する」施設として、在宅生活困難者等の地域移行やリカバリー支援を実施し、社会（集団）性と個別性のリカバリー支援に取組み、家族ではなく職員への依存及び母子分離が図れるようになり、新たな暮らしの場への移行を推進することができた。また、後期から始めた地域から通所に１名が利用を開始し、特別支援学校卒業生１名が次年度から利用することになった。

年度末には、新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、約１か月にわたり園内での療養観察支援を実施した。

グループホームえにしでは、年々歳を重ねる中で本人及び家族の高齢化が顕著になってきており、利用者一人ひとりの将来を見据えた支援が必要となってきている。新型コロナウイルス感染症により様々な制約がある中での生活が続く中での支援の実施となった。また、高齢化に向けての支援や生活環境に整備など中長期的な取組みを計画的に取り組んでいく必要性があることから様々な意見交換を実施した。

短期入所についても、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用制限をした期間が発生したことから、当初の目標値を達成することができず、稼働率が昨年度５５％から４１％と１４ポイント下降した。

２．本年度重点目標に対する結果

（１）強度行動障害支援や対高齢化の支援力の向上

毎月の職員会議にて応用行動分析の事例研修を実施し、モニタリング時など共通言語として定着してきている。対高齢化対策は、これまでの生産・創作活動及び口腔ケアやリハビリ、音楽など動的・静的活動のメリハリのあるプログラムに改善し、機能低下予防を実施し、歩行中の転倒は昨年度８件に対して６件と減少した。

地域移行促進コーディネート事業に選定され、在宅生活困難者等のリカバリー支援により３名がＧＨ、２名が施設へ移行・定着支援を実施した。また、地域から通所利用者１名が利用を開始し、次年度利用者１名と計２名の利用者の受け入れを実施した。

（２）将来の計画等を踏まえた安定的な事業運営の構築

通所目標５名に対して２名、短期入所は、新型コロナウイルス感染症による利用制限期間に伴い目標の９０％は達成できず４４％となったが、短期入所（ミドルスティ）や通所及び補助事業等の実施や利用率がコロナ前の６ポイント増の９１％などから収支バランス（人件費６５．３％、事務事業費２２．６％、積立その他１２．１％）が図れ安定した運営ができた。標準化（ＯＳ）は構成表を作成し職員に周知した。

（３）地域社会と連携して社会参加と地域福祉の充実

新型コロナウイルス感染症に伴い地域行事が中止となる中、実習生の受入や選挙投票及び利用者自治会の主催によるあきまつりや運動会などを開催し、ネットショップ「ＢＡＳＥ」で展示販売を実施した。

対高齢化医療的ケアは、法制度上の課題などを整理する必要があることがわかった。

（４）その他

①　購入物品（１０万円以上）

ア．恩方育成園

業務支援ソフト「ほのぼの」使用権　（リース）　￥3,392,400

パソコンサーバー　（リース）　￥3,960,000

３．事業概要

（１）設置の目的

障害者総合支援法に基づき、１８歳以上の知的障害者がその有する能力及び適性に応じ、自立した生活を営むことができるよう支援する。

（２）名称及び所在地

名　称　　社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会
恩方育成園

所在地　　〒192-0154　東京都八王子市下恩方町２７９４－１
TEL　０４２（６５２）３８２５（代）
FAX　０４２（６５２）３８２６
MAIL　ongata@ikuseikai-tky.or.jp
URL　http://www.ikuseikai-tky.or.jp/~iku-ongata/

（３）設立

①　設立：平成１１年１１月１日

②　事業種別：障害者支援施設（平成２２年１月１日事業開始）

・生活介護事業

・施設入所支援事業

・短期入所事業

（４）施設の規模

①　総面積

敷地面積　　１２，３０９．９８㎡

建物面積　　３，５１６．２４㎡

②　建物の構造及び面積

本館　　建物構造　鉄筋コンクリート造３階建
建物面積　生活介護・施設入所支援
３，２７２．８０㎡

第２作業棟　建物構造　軽量鉄骨造２階建
建物面積　生活介護　　１３２．４８㎡

第３作業棟　建物構造　軽量鉄骨造１階建
建物面積　生活介護　　１１０．９６㎡

（５）職員構成

①　職員構成

常　勤　　４２名

非常勤（産業医１名、配置医２名含む）　　２６名　　計　６８名

職　名	常勤職員			非常勤職員			
	男	女	計	男	女	計	合計
施設長（管理者）	1		1				1
副施設長		1	1				1
事務係長	1		1				1
事務員				1	1	2	2
支援係長（サービス管理責任者兼務）	1		1				1
主任（サービス管理責任者兼務）	2	1	3				3
生活支援員	22	12	34	7	10	17	51
看護師					2	2	2
栄養士		1	1				1
産業医				1		1	1
配置医				2		2	2
障害者雇用(日中活動補助)				1	1	2	2
計	27	15	42	12	14	26	68

※調理員については（株）日清医療食品への業務委託。

②　人事

ア．採用

イ．異動（転入）

ウ．異動（転出）

エ．退職

（６）利用者状況

①　利用状況

ア．定員

（ア）生活介護　　定員８０名（内訳：男性 50 名、女性 30 名）

（イ）施設入所支援　定員８０名（内訳：男性 50 名、女性 30 名）

（ウ）短期入所　　定員　６名（内訳：男性　４名、女性　２名）

②　入退所者状況

ア．入所者（生活介護）

月　日	性別	年齢	移行前
11 月 29 日	男	20 歳	在宅

イ．退所者

月　日	性別	年齢	退所理由
5 月 8 日	女性	55 歳	死亡による
9 月 25 日	男性	66 歳	死亡による
10 月 18 日	女性	59 歳	死亡による
10 月 23 日	男性	80 歳	死亡による

③　性別・年齢構成（生活介護、施設入所支援）※(　)内は生活介護

歳 性別	20 未 満	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60 ～ 64	65 以 上	計	平均
男性	0	0 (1)	0	0	1	4	8	14	3	10	4	44 (45)	54 歳 11 ヶ月 (54 歳 2 ヶ月)
女性	0	0	0	0	4	1	4	6	5	1	3	24	52 歳 8 ヶ月
合計	0	0 (1)	0	0	5	5	12	20	8	11	7	68 (69)	54 歳 2 ヶ月 (53 歳 8 ヶ月)

④　障害支援区分の状況（生活介護、施設入所支援）

	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	5	13（14）	26	44（45）
女性	0	0	0	4	6	14	24
合計	0	0	0	9	19	40	68(69)

⑤　愛の手帳交付状況（生活介護、施設入所支援）

度 性別	1 度	2 度	3 度	4 度	合計
男性	2	23	16(17)	3	44(45)
女性	1	15	4	4	24
合計	3	38	20(21)	7	68(69)

⑥　身体障害者手帳交付状況（生活介護、施設入所支援）

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	合計
男性	5	1	1	0	0	0	7

女性	1	1	2	1	1	0	6
合計	6	2	3	1	1	0	13

車椅子利用者　常時（男性８名、女性４名）　外出時（男性５名、女性４名）

⑦　実施機関別利用者状況（生活介護、施設入所支援）

実施機関	人数	実施機関	人数	実施機関	人数	実施機関	人数
新宿区	3	渋谷区	1	足立区	3	東村山市	1
台東区	1	中野区	1	葛飾区	1	国分寺市	1
江東区	4	練馬区	1	江戸川区	1	東大和市	1
目黒区	1	杉並区	6	八王子市	16(17)	多摩市	1
大田区	3	北区	3	三鷹市	1	合計	68(69)
世田谷区	10	板橋区	2	日野市	6		

４．事業実績

（１）施設入所支援

①　重点目標に関する取組み

コロナ禍、感染症対策により外出等が制限される状況にあったが、施設内で実施できる余暇活動に各班が工夫し取り組んだ。

生活介護事業との連携では､支援員の両事業兼務による支援を継続、ICT 機器を活用した情報の共有、モニタリング会議を軸とする支援の検討・共有を行うことで支援環境の安定や充実がなされた。

専門職としての質の向上を図るべく、リーダー層職員が講師を担い行動応用分析（ABA）を軸とする事例報告研修を毎月実施した。過去から現在に至るまでの支援を共有し利用者個々の理解を深めることができた。

②　実施体制

サービス管理責任者２名（本田友則、門倉志保）

班	利用者数	職員配置				
		主任	リーダー	支援員（常勤）	支援員（非常勤）	計
のぞみ	14 名＋短期入所１名	1	1	7	0	8
やまびこ	9 名＋短期入所１名		1	2	0	3
はやて	11 名＋短期入所１名	1	1	3	0	4
つばさ	10 名＋短期入所１名		1	4	0	5
こまち	10 名＋短期入所１名	1	1	6	1	7

ひかり	14 名＋短期入所 1 名		1	5	1	6

※支援員(常勤)にはフルタイム非常勤を含む

③　日課・週間スケジュール

曜日 時間	月曜日～金曜日 日中（作業）活動日	土・日・祝祭日 余暇活動日
7:00	起床、洗面、着替え、検温、ベッドメーク他	
8:00	朝食・歯磨き、作業・活動の準備、清掃、引き継ぎ等	
9:00	全体スタッフミーティング	
9:30	日中活動（生活介護）	余暇活動
12:00	昼食、休憩	昼食、休憩
13:30	日中活動（生活介護）	余暇、外出、入浴等個別日課
16:00	入浴、洗濯、掃除、余暇等、個別日課	
18:00	夕食、排泄、歯磨き	
19:00	入浴、洗濯、掃除、余暇、個別日課、ティータイム、ミーティング等	
20:25	夜勤スタッフミーティング	
21:00	就寝	

※時間、個別日課の内容は各利用者によって異なる。

※食事は利用者の希望･状態により､各フロアサロン､レストランで喫食した。

※入浴は、週４日程度実施した。班により利用者のニーズに合わせた時間帯を設定した。

④各グループ実施状況

グループ名	のぞみ（２階男性重度重複グループ）定員１４名+短期入所１名
令和 3 年度重点的取り組み	
（ア）高齢化による身体機能の低下を防ぐ為、他職種との連携を強化した。PT とはリハビリメニューの確認を行ない、歩行やリハビリを毎日継続し、各関節、筋肉に刺激を入れることで筋力の維持を図り運動機能の低下を防いだ。嚥下機能の低下が顕著に見られる利用者が増えているため、栄養士、ST との連携を密に行ない、食事前の嚥下体操の実施や食形態の見直しを随時行なった。 （イ）利用者が自己肯定感を持てるように役割の設定を行ない、進捗については確認を行ないながら評価を行なった。それぞれが役割を認識し責任をもって行なえるようになってきている。また、コロナ禍で外出ができないことが多かったが、できる限りランチ外出・行事を行なった。やまびこ班の利用者と一緒に実施することで協調性を育み、楽しみを共有していくことで普段の生活でもお互いが尊重し合い、助け合い、充実した生活を送れるようにした。	

（ウ） 職員の育成について、フロア会議内で研修の機会を設け、職員が外部で受講した研修についての伝達研修を行なった。伝達する職員は他者に教えることで、その研修の理解を深めつつ、他者への伝え方についても学ぶことができていた。
グループでの活動状況

活動内容	回数	利用者数	職員数	備　　考
ランチ外出（テイクアウト・外食）（やまびこ班合同）	22	25	23	バーミヤン 八王子並木町店、食事処カキノキテラス、からやま八王子並木店、ヤオコー 八王子並木店、シオン、不二家、ステーキのどん 秋川店、ステーキのどん 東浅川店、ロゼッタ、CAFÉ CHOU CHOU、ココス千人町店、スイーツファクトリー、丸亀製麺八王子、サクンタラ、泰朋、キッチンファーム、サンドイッチハウスメルヘン西八王子南口店、パン生活、シャトレーゼ元八王子店、トゥーマイ、高尾山 FuMotoYA、だしまき玉子専門店 卵道、高尾煉瓦屋、祥瑞八王子店、ステーキあさくま
余暇イベント（やまびこ班合同）	190	376	211	園内カラオケ大会、花火大会（かつさと八王子平岡町店、やまぎし）製菓（クレープ、カップケーキ、フルーツポンチ、フルーチェ、）シャトレーゼ、園内自動販売機
新年会	1	13	6	戸吹鮨忠（寿司）飲み物
山本商店（園で販売）で買物	35	43	35	お菓子・飲み物

グループ名	やまびこ（２階男性軽度グループ）定員９名+短期入所１名
令和３年重点的取り組み	
（ア） 地域移行に向けて善処できる利用者に対して、本人の意思確認とともに、ADL や社会性の向上に繋がる支援を行なった。相談事業所と連携を取り、グループホームの見学や体験を行なった。 （イ） 支援員間での共通した認識を持ち対応を行なう中で、個々の状態に合わせた支援や評価を伝えることで自信や安定に繋げた。 （ウ） 年齢や体力・嗜好等を考慮した２グループに分け、運動や健康面	

への支援を行なった。若年グループは適度な運動をして身体能力や体力の維持ができた。高齢の利用者に関しては特に健康やリハビリ面に於いて身体機能の低下が見られており、医療や PT と連携を取り身体機能の維持に注視し支援を行なった。				
グループでの活動状況				
活動内容	回数	利用者数	職員数	備　　考
ランチ外出（テイクアウト・外食）（のぞみ班合同）	22	18	18	バーミヤン 八王子並木町店、食事処カキノキテラス、からやま八王子並木店、ヤオコー　八王子並木店、シオン、不二家、ステーキのどん 秋川店、ステーキのどん 東浅川店、ロゼッタ、CAFÉ CHOU CHOU、ココス千人町店、スイーツファクトリー、丸亀製麺八王子、サクンタラ、泰朋、キッチンファーム、サンドイッチハウスメルヘン西八王子南口店、パン生活、シャトレーゼ元八王子店、トゥーマイ、高尾山 FuMotoYA、だしまき玉子専門店 卵道、高尾煉瓦屋、祥瑞八王子店、ステーキあさくま
余暇イベント（やまびこ班合同）	190	296	211	園内カラオケ大会、花火大会（かつさと八王子平岡町店、やまぎし）製菓（クレープ、カップケーキ、フルーツポンチ、フルーチェ、）シャトレーゼ、園内自動販売機
新年会	1	10	2	徐記厨房（中華料理）シャトレーゼ（プリン）アルプス（コーヒー入り乳飲料、チョコレート菓子）
山本商店（園で販売）で買物	35	37	35	お菓子・飲み物

グループ名	つばさ（３階男性中度グループ）現員１２名＋短期入所１名

令和３年度重点的取り組み
・利用者の高齢化に伴う心身の変化を要観察しながら、身体能力等の維持・向上を図ることに努めた。また、状態像に合わせて運動機会を設けるなどして ADL 等が低下しないように工夫して支援した。 ・地域移行支援を念頭に置いた支援に於いて、身辺自立の向上に繋げていくために環境面で整備した上で、各利用者に合った形で衣類準備や居室整理により、自立能力の促進に繋げた。 ・コロナ禍の影響で、外出を伴う行事の実施が困難な状況下にあった。 代替として、食事会など楽しみがもてる行事や余暇の充実を図り、生活の質の向上に繋げた。

グループでの活動状況

活動内容	回数	利用者数	職員数	備　　考
はやて班行事	0	0	0	新型コロナウイルス感染症のため中止
宿泊旅行	0	0	0	新型コロナウイルス感染症のため中止
園内食事会（はやて班と合同含）	3	33	7	７月（ちらし寿司）
はやて班との合同活動状況				
ドライブ	48	144	24	市内ドライブ ケンタッキーフライドチキン、モスバーガー、スターバックスコーヒー、マクドナルド（主にドライブスルーを利用）
ウォーキング	48	144	24	園内
フロア内余暇活動	238	2,618	119	スヌーズレン、ティータイム、映画鑑賞、音楽鑑賞、スポーツ観戦、カラオケ大会、ホットケーキパーティー等
イベント（短期入所者含）	10	110	30	花火大会、縁日、もみじまつり、クリスマス会、初詣、運動会、節分、等

グループ名	こまち（２階女性重度グループ）現員１０名＋短期入所１名
令和３年度重点的取り組み	

・重度、高齢化に伴い身体介護や健康管理が必要であった。排便チェック、眠りスキャンを活用した睡眠チェック、体温管理、血圧測定、脈拍測定、血中酸素濃度測定、体重測定などを必要に応じて用い、健康管理・生活リズムの把握を行った。
・コロナ禍で、外出機会は減少したが、余暇活動を充実させた。
園内外のウォーキングやカラオケ、創作活動など利用者が選択してプログラムを行った。
・今期も個々に体力の低下、疾病、状態像の変化が見られたため、細かに観察をし、医務と栄養士に報告をしながら ST、PT との連携を図った。身体機能を維持するために個別リハビリプログラムを実施した。

グループでの活動状況

活動内容	回数	利用者数	職員数	備　　考
創作活動	15	160	45	貼り絵、塗り絵、折り紙、イベントの装飾作成等
誕生会	2	20	8	こまち・ひかり合同会
おやつ作り	11	121	55	どら焼き、ホットケーキ、人形焼き、わたがし、ゼリー
イベント	5	52	25	夏祭り、お祭り、クリスマス会、自治会主催運動会、新年会
ドライブ	7	21	7	八王子市内、公園等
ウォーキング	26	72	26	園内・園周
カラオケ	65	390	210	童謡、歌謡曲等

グループ名	ひかり（３階女性中・重度グループ）現員 14 名＋短期入所１名

令和３年度重点的取り組み

・コロナ禍で、園内（屋内・屋外）フロア内で活動することが多かったが、利用者の意見・希望を叶える内容の行事や余暇活動を実施した。
・各自フロア内の役割を決定し、評価され、感謝されることで充実感、有用感を感じてもらうよう支援した。また、個別での対応や支援を通して安定した生活を目指した。
・行事は、利用者が主体となるように、内容の検討、話し合い、準備、装飾、実施をした。
・今年度も専門職と連携を取り、体力・健康・機能維持を行った。

グループでの活動状況

活動内容	回数	利用者数	職員数	備　　考

買い物	5	6	7	業務スーパー、アルプス、ダイソー等
創作活動	30	150	45	絵画、花作り、季節の飾り作成、 イベントのための装飾作り等
誕生会	2	28	12	こまち・ひかり合同
新年会	1	14	3	つばさ・ひかり合同
おやつ作り	4	56	18	ホットケーキ、バナナケーキ、フルーツポンチなど
イベント	6	84	36	夏祭り、お祭り、クリスマス会、自治会主催運動会等
１日外出	3	5	5	食事、買い物等
ウォーキング	96	824	100	園外周、ふれあいルーム等
話し合い	46	644	70	ひまわり会　等
ドライブ	8	40	8	市内、公園等

（２）短期入所事業利用状況

①　定員（併設型）　　男性４名、女性２名

②　年間利用状況

区分	6		5		4		3		合計
月	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
４月	89	0	8	30	0	6	0	0	133
５月	62	0	0	0	0	0	0	0	62
６月	57	0	0	20	0	6	0	0	83
７月	29	16	35	31	0	0	0	0	111
８月	31	31	31	0	0	0	0	0	93
９月	30	30	30	0	0	0	0	0	90
10 月	31	31	31	0	0	0	0	0	93
11 月	61	30	38	4	0	6	0	0	139
12 月	71	31	46	0	0	4	0	0	152
１月	55	33	25	3	0	0	0	0	116
２月	28	28	28	0	0	0	0	0	84
３月	31	31	31	0	0	0	0	0	93
合計	575	261	303	104	0	22	0	0	1265

年間延べ利用日数 1265 日　　年間利用率 44％

（３）生活介護事業実施状況（日中活動部門）

①　重点目標に関する取り組み

6 つの活動班、スポットプログラム、運動プログラムの構成で利用者個々の特性や能力に応じた活動を実施している。施設の資源を最大限に活用し、地域の通所利用希望者に対して生活介護の受け入れを開始した。１２月より１名の利用者の利用が開始となった。

② 実施体制

サービス管理責任者 2 名（本田友則、門倉志保）

利用者・職員体制

班	利用者数（現員）	職員配置		
		常勤職員	非常勤職員	計
ふれあい班	17	2	1	3
あおぞら班	8	0	2	2
夕やけ班	17	1	2	3
こもれび班	12	0	1	1
ほしぞら班	16	1	4	5
あさやけ班	2	1	1	2
運動プロ	全利用者対象	全職員兼務		

＊支援員（常勤）にはフルタイム非常勤を含む

③ 日課・週間スケジュール

曜日／時間	月	火	水	木	金
9：00	全体スタッフミーティング				
9：15	活動ミーティング				
9：30	移動・誘導				
9：40	各班で運動プログラム				
スッポトプログラム		陶芸	陶芸		
10：30	班活動				
11：30	利用者誘導				

12：00	昼食・休憩				
13：15	各活動班ミーティング				
13：30	移動・誘導				
13：40	班活動				
プログラム	リハビリプログラム	レクプログラム	歯科回診	音楽プログラム	レクプログラムお茶会
16：00	活動終了				

④　作品販売・地域行事等への販売（両事業共通）

	イベント名
6月1日～6月30日	BASEでのネット販売　1回目
7月開催予定	森のアトリエ　福祉まつり　コロナウイルスの為中止
7月開催予定	八王子福祉園納涼園まつり　コロナウイルスの為中止
9月開催予定	八十六人展　コロナウイルスの為中止
9月開催予定	聖パウロ学園高等学校園祭　コロナウイルスの為中止
11月6日	あきまつり恩方（もみじまつりとして開催）
12月1日～12月31日	BASEでのネット販売　２回目（八十六人展代替）
3月開催予定	ふれあいコンサート　コロナウイスの為中止

⑤ 各グループ実施状況

グループ名	ふれあい班	利用者数	17名
障害特性	障害の程度が重い、身体障害の重複		
重点的取り組み			
高齢の利用者が多い為、身体機能の維持に努める為に今年度よりリハビリ中心に活動を行っている。リハビリ内容は理学療法士と個人の状態に合わせ決定し、日々の活動内で実施している、一人ひとりに関わる時間、プログラムを設定し個々の適正に応じた作業・活動を支援し、集中力の向上、生活リズムの維持・確保に努めている。また、体を動かす機会を多く取り入れることで情緒の安定・体力の維持・増進が保てるようにしている。作業や活動を通じ周囲に行動を合わせるなど社会性を育めるように支援している。			
グループでの活動状況			
リサイクル活動（紙ちぎり、シュレッダー）			

自立課題教材（型入れ、色分け、プットイン） 室内・館内・屋外ウォーキング、散策、マット運動、ストレッチ リハビリプログラム、音楽プログラム、レクプログラム リハビリ、DVD 鑑賞等

グループ名	あおぞら班	利用者数	8 名
障害特性	比較的能力が高い高齢利用者		
重点的取り組み			
高齢・加齢に伴い体力や身体機能、日常生活動作等に低下が見られる利用者に対し、一人ひとりが今まで培ってきた能力を主体的に発揮し自尊心が損なわれることがないように、また、周囲との共感が得られやすい環境をつくり自己肯定感を高め心身ともに健やかに日常生活を過ごせるように支援している。完成した作品を施設内に展示し、利用者・職員、来園者に鑑賞していただき評価を受ける事で達成感や充実感に繋げた。運動は、室内で平行棒や椅子を利用したストレッチ等を行い、身体機能の維持に努めた。			
グループでの活動状況			
受注作業、創作活動（ビーズ）、運動（ウォーキングやストレッチ）、自立課題教材、リサイクル作業（紙ちぎり、シュレッダー、紙すき）、教養（塗り絵）			

グループ名	夕やけ班	利用者数	17 名
障害特性	個別対応を要する、自閉傾向　行動障害		
重点的取り組み			
周囲からの刺激を緩和する為、個別の環境や小人数での作業環境など、個々に合った安心できる環境を構築して活動に取り組んだ。作業は自立課題教材を基本に取り組み、新しい課題も積極的に取り入れて、自発的に作業に取り組む事ができる時間が増えている。運動は、リハビリやウォーキングを行いながら身体機能の維持に努めた。			
グループでの活動状況			
創作活動（刺繍、ビーズ、他）、リサイクル作業（紙ちぎり、シュレッダー）、自立課題教材（プットイン、型入れ、色分け、他）、教養（塗り絵、パズル）、運動（リハビリ、ウォーキング）			

グループ名	こもれび班	利用者数	12 名
障害特性	活動的な自閉傾向、行動障害		
重点的取り組み			
スケジュール・作業環境・動線を調整し、集団での行動を基本とすることで、視覚的にわかりやすく見通しが持ちやすい環境を整え、活動に取り組んだ。動的プログラムでは、ウォーキングを通じ、基礎体力・持久力等の健康増進、適応行動の取得、生活リズムの安定を図った。静的プログラムでは、リサイクル作業と自立課題教材のプログラムを継続した。			
グループでの活動状況			
ロングウォーキング（まん延防止等重点措置及び緊急事態宣言期間中は園の敷地内で実施）、リサイクル作業（缶、ペットボトル、紙ちぎり、シュレッダー）、自立課題教材（プットイン、型入れ、他）、教養（塗り絵、パズル）			

グループ名	ほしぞら班	利用者数	16 名
障害特性	比較的能力の高い、身体障害の重複		
重点的取り組み			
機織・木工・刺繍などの創作活動。環境を整備し、集中を促すことで作品や作業の質に一定の成果が表れている。コロナウイス感染予防の為イベントを行う事が出来ない為、作品の販売・宣伝の場として、BASE を利用してのネットショップを開設し販売した。作業以外にも、屋外でのウォーキングや体操等を行う事で健康促進し、作業で使う材料を買いに出かける事で気分転換も図っている。11 月より通所利用が始まり活動に参加した。			
グループでの活動状況			
機織り、刺繍、木工、刺し子、リリアン、ステンシル、ビーズ、手工芸 散歩、体操等、屋外ウォーキング、屋内ウォーキング、ドライブ　買い物 洗車　リハビリプログラム　音楽プログラム　レクプログラム 行事：月一回工賃でジュース購入。お疲れさま会			

グループ名	あさやけ班 （ベーカリー）	利用者数	2 名

障害特性	就労・地域移行の可能性のある利用者

重点的取り組み

　地域移行を希望する、またはその可能性がある利用者に対し自立に向けた活動と支援を行っている。活動では仕事をする上で必要な、挨拶等の礼儀やマナー、食品を扱う上で重要となる手洗い・身嗜み等の衛生管理方法や、清掃業務等を通じて常に整理整頓の意識を育めるように支援を行った。
　作業では、パン製造に携わる機会を設け、それを伝えることで自己有用感を育めるよう支援を行った。
　販売・納品時の挨拶や、商品の受け渡し等を通じて、日々の取り組みの成果を発揮し、他者・地域との交流を深めることができている。

グループでの活動状況

手洗い、消毒、身だしなみ、パン生地の分割・計量・丸め、パンの袋詰め、消費期限の押印、シール貼り、清掃作業、用具洗浄、パン配達・園内販売、

定期納品・販売先一覧

納品先	内容	販売・配達日
道の駅八王子滝山	ブレッド類・ロールパン類 焼き菓子類等	火・金
山の子の家	食パン・菓子パン 焼調理パン	今年度は行っていない
八王子福祉園	パン類全般・焼き菓子類等	今年度は行っていない

⑥ 運動プログラム

重点的取り組み

　加齢に伴う歩行障害、関節可動域の制限、全体の体力低下、身体の各部分の機能低下等を課題とし、園全体、利用者全員を対象とし、運動・リハビリ等に特化したプログラムを横断的に展開している。定時に運動発散による適度な疲労感を得ることは、情緒的な安定・精神的充足感にも繋がり、生活リズムを整えることにも寄与している。長期的に将来を見据え、体力維持及び機能低下の予防を目標にプログラムを構成しているが、脚力・持久力の低下が見られる方も増えてきている。ただし、具体的な要因（骨折、疾病等）によるもの以外は、その速度は緩やかな印象であり、概ね脚力・体力を維持することができていると考える。今後も、園全体で健康管理の意識を高め、利用者個々の生活が充実したものとなるように継続していく。

　活動内容

ウォーキング、リズム体操、ストレッチ、ラジオ体操

盆踊り、フォークダンス、ボール投げ 個々の状態に合わせたリハビリ・ストレッチ、ウォーキング 行事…　あきまつり（１１月　リズム体操）

⑦ スポットプログラム（外部講師によるプログラム）

プログラム名	陶芸活動
活動内容	
陶芸家を招き、毎週火・水曜日の午前に実施した。陶芸に関わる高度な技術や技法を、様々な工夫で平易で簡単な作業に変換することで、利用者個々は能力を十分に発揮し、作る喜びを味わい楽しみながら作品作りを行っている。継続した取り組みにより、自主的に作業を進めていく場面も増え、作品の技術や個々の表現力も向上してきている。コロナウイルス感染予防の為、講習の先生を呼ぶことが出来ずに開催される事が少なかった。	

（４）行事実施状況

① 旅行実施状況

新型コロナウイルス感染症対策より今年度は宿泊旅行を中止とした。

② 夏祭り（あじさいまつり）　開催日：8月6日（金）

地元大沢町会と交互開催、今年度は恩方育成園主催で夏祭りが開催される予定だったが感染症対策により中止となった。

施設内代替行事として利用者自治会主催によるなつまつり「あじさいまつり」を開催した。感染症対策・三密の回避に取り組んだうえで、季節を感じられる行事として花火を行い、なつまつりの雰囲気を楽しんだ。

③ 八十六人展（第２１回）

期間：１２月１日（水）～１２月３１日（金）

八王子市いちょうホールでの開催は感染症対策により中止としたが、代替案として、昨年度からネットショップ「ongata86shop」をインターネット上に開店し開催した。より多く閲覧、購入して頂くための取り組みとして、ポスター作成や宣伝シールを作成した。しかしながら、売り上げは１１，３３０円と閲覧数は１，０５３件となり売り上げのアップにはつながらなかった。

④ あきまつり恩方（もみじまつり）　開催日：１１月１２日（金）

利用者自治会主催行事「もみじまつり」を昨年に引き続き、新型コロナウイルスの影響を鑑みて、保護者・来賓・町会・ボランティアの外部の方々を呼ばない形での開催とした。テーマを「オリンピック・パ

ラリンピック」に焦点を当てイベントや食事に反映させた。

⑤　クリスマス会　開催日：１２月２４日（金）

聖パウロ学園ハンドベル部の DVD による映像コンサート、クリスマス帽子作成を行った。また、音楽プログラムで練習していたクリスマスソングの成果披露の場となった。昼食はクリスマスメニューランチ。サンタクロースによるプレゼント配布を行うなど、盛りだくさんのクリスマス会となった。

⑥　楽しむ運動会　開催日：1 月 21 日（金）

利用者自治会の発案、運営による行事として、運動会（パン食い競争、ストラックアウト、フライングディスク）を開催した。昨年度から、引き続きの競技に加え、新たな競技にも挑戦している。

５．権利擁護

（１）事業所としての取り組み、方針

①人材育成

管理会議・運営会議・研修委員会が中心となり、施設全体・職員個々に対し権利擁護を含めた総合的な支援について、職員能力の向上を図るための研修を行った。

ア．重点項目の設定

虐待防止チェックリスト（東京都福祉保健局版）を用いたセルフチェックを２回（６月・３月）実施した。

イ．内部研修

４月　２日　施設内新任研修「権利擁護・虐待防止について」
講師：本田支援係長

１２月１０日　園内研修「福祉職員のストレスケア」
外部講師

１１月２６日、２月２５日
園内研修「八王子市障害者虐待防止研修」
講師：本田支援係長

（２）権利擁護・虐待防止委員会

恩方育成園　権利擁護虐待防止委員会の内容について

目　　的：恩方育成園に所属する障害者本人の権利擁護と虐待防止

所掌事項：障害者本人の権利の擁護に関すること
障害者虐待の早期発見及び対応策に関すること

障害者虐待の通報・報告に関すること
障害者虐待関係諸機関の連携強化に関すること
身体拘束に関すること
その他委員長が障害者虐待防止に関し必要と認めること

組　　織：施設長を委員長とし、１４名で構成。委員内に保護者代表・第三者委員を入れ保護者代表・第三者委員が出席した。

開　　催：年２回（７月・１月）実施

恩方育成園 権利擁護・虐待防止委員会	施設の虐待受付窓口、各関係機関との連携、届け出、園内研修計画、各職員のチェックリスト作成、事例検討		
	委員長	久保田　美幸	施設長
	委　員	岡　いづみ	副施設長
		本田　友則	支援係長
		田代　崇久	事務係長
		大塚　大介	主任
		門倉　志保	主任
		門倉　歩	主任
		高橋　庄太郎	保護者会長
		市川　正子	保護者会副会長
		内ケ崎　郁子	保護者会副会長
		杉山　久子	第三者委員
		崎田　京子	第三者委員
		中村　義之	第三者委員
恩方育成園 虐待防止責任者	氏名　管理者　久保田　美幸		

①　権利擁護・虐待防止委員会の実施について

実施日	内容	参加人数
令和　３年　７月　２日	2021 年度　委員紹介 前期報告 虐待防止セルフチェック報告 研修状況・今後の予定	１４名

	意見交換	
令和　３年　１月２２日	後期報告 身体拘束（施錠）改善状況 投票支援 ・東京都議会議員選挙（7/4） ・衆議院議員選挙（10/19） 研修状況・今後の予定 意見・情報交換	１４名

②　虐待認定

３月末に派遣社員による、利用者への不適切な支援が発生した。当該派遣社員は即時契約を解除し、利用者の安全・安心の生活環境を確保し、再発防止策を検討し実施した。

今後の再発防止策は、派遣社員の入職時に権利擁護及び虐待防止研修、虐待防止セルフチェックを実施し、関係職員からの勤怠状況の確認を実施する。

（３）苦情解決第三者委員

今年度も新型コロナウイルス感染症対策により来園での施設内視察及び利用者との懇談を行うことはできなかった。ただし、八王子市クリエイトホールでの保護者連絡会開催時には、管理層職員より運営状況の説明を行い、良質なサービス提供につながるよう施設運営、利用者対応に関する意見や助言を受けている。

役　　割	氏　　名	備　　考
苦情解決責任者	久保田　美幸	施設長(管理者)
苦情相談受付担当者	岡　いづみ	副施設長
苦情解決第三者委員	杉山　久子	介護福祉士　地元町会
	崎田　京子	元八王子いちょうの会理事長
	中村　義之	元生活支援ホーム世田谷施設長

（４）個人情報保護

①　個人情報の管理

個人情報について『個人情報保護規定』に則り個人情報の保護を行い、個人情報の使用に当たっては利用者・家族から「個人情報使用同意書」を頂き、同意書に沿った使用を行った。この他、情報の開示、プライバシーの保護等法令を順守し、また、ボランティア・実習生等の受け入れに際しても、誓約書の提出等個人情報の保護・漏えい防止

策を徹底した。

② 特定個人情報（マイナンバー関連書類、データ等）の管理

利用者の特定個人情報を保管する場合、法人「特定個人情報取り扱い規程に則り保管した。取扱責任者、取扱担当者は下記の通りとし、そのほかの職員が取り扱わないことを徹底した。取扱いに際しては管理区域、取扱い区域を設け漏えいを防止した。

職　名	氏　名
管理責任者（法人）	事務局長　仁田坂　和夫
取扱責任者	施設長　　久保田　美幸
取扱担当者	サービス管理責任者　本田　友則、門倉　志保

（５）障害者差別解消法対応

「障害者差別解消法福祉事業者向けガイドライン」（厚生労働省）、「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」（八王子市）に則り、事業者として、日常の支援が障害者に対する不当な差別的取扱いにならないよう、施設入所・生活介護それぞれの場面で必要かつ合理的な配慮を行いながら、個別支援計画の策定、日常の支援にあたった。また職員の理解を深めるための研修も実施した。

６．医務

（１）健康管理

①ミーティングなどで利用者の健康状態を把握し、情報共有に努めた。

②利用者の健康状態の把握・観察を行い、配置医に報告・連携した。

③新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策に関して予防対策に努め、対感染症の園内研修やゾーニングシミュレーションを実施した。

④医務アセスメントを作成し、利用者情報の整備に努めてきた。

⑤栄養士及び言語聴覚士と連携し、高齢化の機能低下に伴う摂食・嚥下等の支援員と情報共有を行い、安全で楽しい食事ができるように努めてきた。

⑥配置医・地域の医療機関との連携をし、日常的な医療・健康管理を実施した。

⑦事務所にデスクを置き栄養士やサビ管等と連携を強化して、利用者の健康管理の早期発見早期対応のため、アウトリーチ型に看護機能を変更した。

⑧リハビリ・口腔ケア委員会で、利用者対応を現場職員と協働して取り組んだ。

ア．配置医・訪問歯科受診状況

恩方病院（配置医）１回／月　　（利用者人数）

フロア名	合計
2F 男子	１２
3F 男子	１４
2F 女子	6
3F 女子	8
合計	４０

花いかだ心療クリニック（配置医）２回／月（利用者人数）

フロア名	合計
2F 男子	8
3F 男子	6
2F 女子	5
3F 女子	4
合計	２３

聖和会往診部（歯科）水曜日／毎週　　（延べ人数）

	対象者数	月												合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
2F 男子	20	30	25	30	22	21	31	29	23	28	31	13	0	283
3F 男子	20	33	25	24	32	19	25	28	18	29	28	17	0	278
2F 女子	10	16	9	16	14	14	15	14	12	15	14	8	0	147
3F 女子	13	19	13	21	22	13	17	16	16	16	21	7	0	181
合計	63	98	72	91	90	67	88	87	69	88	94	45	0	889

※3 月は園内新型コロナウイルス感染症クラスターの為実施なし。

イ．通院状況　　（延べ人数）

科　目		内科	整形外科	脳外科	外科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリ	婦人科	合計
4～6	2F 男子	12	1	1	0	0	4	3	0	0	0	21
	3F 男子	7	1	0	0	0	1	1	0	0	0	10

	2F 女子	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	3F 女子	5	0	0	1	0	1	1	0	0	0	8
	合計	24	2	1	1	0	6	6	0	0	0	40
7～9月	2F 男子	11	4	0	0	7	2	12	0	0	0	36
	3F 男子	4	0	1	0	3	10	6	0	0	0	24
	2F 女子	2	0	1	0	3	4	0	0	0	0	10
	3F 女子	4	0	0	2	2	0	2	0	0	0	10
	合計	21	4	2	2	15	16	20	0	0	0	80
10～12月	2F 男子	10	0	0	4	4	3	2	0	0	0	23
	3F 男子	2	2	0	0	2	1	4	0	0	0	11
	2F 女子	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	3F 女子	4	0	0	0	2	0	8	0	0	0	14
	合計	18	2	0	4	8	4	15	0	0	0	51
1～3月	2F 男子	13	0	1	1	1	1	1	0	0	0	18
	3F 男子	4	0	0	0	4	18	5	0	0	0	31
	2F 女子	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	3F 女子	13	0	1	0	0	0	2	0	0	1	17
	合計	35	0	2	1	5	19	8	0	0	1	71
総合計		98	8	5	8	28	45	49	0	0	1	242

ウ．入院状況　（延べ人数）

科　目	内科	整形外科	脳外科	外科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	リハビリ	婦人科	合計
2F 男子	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
3F 男子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2F 女子	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
3F 女子	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	11	0	0	0	1	0	0	0	0	0	12

エ．緊急入通院

転倒等による外傷の通院あったが、入院に至ることはなかった。

緊急入通院　（件数）

フロア＼月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	総合計
2F 男子	通院	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4

	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3F 男子	通院	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2F 女子	通院	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3F 女子	通院	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	通院	2	0	1	3	4	0	1	1	0	0	0	0	12
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（２）関係医療機関・療養相談医

恩方病院	堤祐一郎 Dr.（精神科・内科）	月１回
	八王子市西寺方１０５	042(651)3411
花いかだ 心療クリニック	島本昌和 Dr.（精神科・内科）	月２回
	町田市小山町４４０５－１	042(703)8130
聖和会	川本　武 Dr.（歯科）	毎週（水）
	多摩市永山１－４ グリナード永山５１２-３	042(338)6700

（３）感染症予防・対応

①新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ予防・対策について

②嘔吐物の処理方法について

④発熱者（利用者）がでた際の対応について

⑤職員および職員の家族が嘔吐・下痢、発熱した者がでた時の対応

新型コロナウイルス感染症の発熱者対応室の防護具装着やゾーニングシミュレーションを実施し、おう吐物処理に関した職員会議で周知し感染症予防に取組んだ。インフルエンザワクチン接種は　12 月 21 日に実施した。

（４）ＰＴ・ＯＴ

①ＰＴ　月２回、火曜日の午後に理学療法士によるリハビリを実施した。

②ＳＴ　月１回、言語聴覚士との連携により、誤嚥対策を実施した。

（５）年間スケジュール表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検温管理	毎朝実施（症状に応じて適宜）											
血圧測定管理　月１回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

体重測定管理 月１回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
療養相談日（恩方病院）月１回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
療養相談日(花いかだ心療クリニック)　　月２回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
歯科回診 毎週１回程	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
健康診断						○						
インフルエンザワクチン予防注射（希望者）									○			
採血（血中濃度）	適宜配置医の指示で実施											
通院	利用者の状況で適宜実施											

年間を通じ上表通りに実施した。

健康診断については　9 月　16 日実施。3 月 3 日に予定していたが園内新型コロナウイルス感染症クラスターの為延期となる

（利用者：２回／年、職員：１回／年、夜勤者２回／年）

※健康診断検査項目

採血・血圧・検尿（蛋白・糖）身長・体重・心電図・内科診療

胸部レントゲン・・便潜血・肝炎ウイルス・電解質

７．給食実施状況

（１）重点目標

食事は栄養と健康を維持するだけでなく、利用者にとって日々の生活の中で大きな楽しみとなっている。個人の嗜好に合わせて選択できる喜びを味わえるメニューの取り入れや、個々の健康状態に合わせた食事量の調整を行なった。また、高齢により嚥下機能低下を鑑みた食形態に力を入れ利用者のニーズに対応しながら質の高い食事を心掛けてきた。

（２）給食会議

給食会議	副施設長・栄養士・委託側主任調理員	4 月、9 月 2 回開催

（３）衛生管理

食中毒予防及び、嘔吐や下痢等の感染症の疑いがある場合には必要に応じてディスポ食器を使用し感染症の拡大防止等、衛生管理の徹底に努めた。

（４）委託業者

栄養士１名・主任調理員１名・調理員 7 名を配置し、栄養管理、健康管理等に則した食事提供を行った。※調理員は(日清食品株式会社に委託)

職種	職員数	男性	女性
栄養士	1	0	1
主任調理員	1	1	0
調理員	5	1	5
合計	7	2	6

（５）年間行事食

月日	行事名	献立
4/30	お誕生日メニュー	根室名物エスカロップ・彩り野菜サラダ・コンソメスープ・お誕生日デザート
5/28	お誕生日メニュー	ごはん・味噌汁・ヒレかつ・エビフライ・野菜の炊き合わせ・お誕生日デザート
6/25	お誕生日メニュー	彩りちらし寿司・鶏団子汁・おひたし・おお誕生日デザート
7/7	七夕メニュー	七夕そうめん・かき揚げ・れんこんのはさみ揚げ・ｶﾘﾌﾗﾜｰのおかか和え・七夕ゼリー
7/21	セレクトメニュー	エビとブロッコリーのクリームスパゲティーor ほうれん草とチキンのトマトソース・８品目サラダ・スープ・フルーツゼリー
7/30	お誕生日メニュー	オムライス・カニクリームコロッケ＆コーンコロッケ・コンソメスープ・お誕生日デザート
8/27	お誕生日メニュー	ハンバーググラタン・コールスローサラダ・スープ・お誕生日デザート
9/4	お誕生日メニュー	エビピラフ・チキンカツディアブルソース・サラダ・お誕生日デザート
10/13	セレクトメニュー	たらこクリームスパゲティーor 揚げ茄子とベーコンのトマトソーススパゲティー・10 品目サラダ・スープ・ゼリー
10/29	お誕生日メニュー	佐賀名物シシリアンライス・のっぺい汁・お誕生日デザート
11/26	恩方育成園創立記念メニュー	海鮮ちらし寿司・鶏つみれ汁・青菜の和え物・お誕生日デザート
12/24	クリスマス会メニュー	月見チーズハンバーガー・オニオンリング・ポップコーンシュリンプ・クリスマスサラダ・クリスマスケーキ
1/1～2	お正月料理	１日お刺身（２種）松風焼き・紅白かまぼこ・昆布巻き・栗きんとん・紅白なます・黒豆・お煮しめ・伊達巻・ローストポーク等 2 日大海老天丼・出汁巻き玉子と彩り野菜巻き
1/20	成人を祝う会	お祝い弁当　菜飯・鶏肉の竜田揚げ・鮭メンチカツ・赤魚の西京焼き・炊き合わせ・玉子焼き・生ハムマリネ 選べるデザート　アイスクリーム２種選べるトッピングのクレープ
1/29	お誕生日メニュ	カレーピラフ・メンチカツトマトソース・

	ー	お誕生日デザート
2/3	節分メニュー	鰯のつみれうどん・ササミの酢の物・手作り恵方巻き・フルーツゼリー
2/9	セレクトメニュー	揚げ茄子とベーコンのトマトスパゲティーor 和風シーフードスパゲティー・サラダ・コーンポタージュスープ・ゼリー
2/28	お誕生日メニュー	野菜ピラフ・ミートローフ・洋風かきたま汁・お誕生日デザート
3/3	ひな祭りメニュー	桜寿司・鶏団子汁・菜花の和え物・苺のババロア
3/25	お誕生日メニュー	佐賀名物シシリアンライス・のっぺい汁・お誕生日デザート

（６）留意事項

① 利用者の健康保持促進のため、毎月の体重測定及びミーティング等で報告される情報をもとに適正な栄養バランスの食事の提供に心掛けた。

② 利用者の嗜好・健康状態に配慮した献立を提供するため、嗜好調査や給食アンケートをもとにお誕生日メニューや行事食に反映させた。

③ 成人を祝う会は対象になっている利用者から食べたいものを聞き取りお弁当に反映させた。選べるデザートは、２種類のアイスクリームから、クレープはその場でトッピングを選んでもらい出来立てを提供し好みのものを選ぶ楽しみを味わえる企画を行った。

④ 食事量の不満の軽減や便秘の解消を目的として減量食の一部にマンナンごはんを導入し個々の健康状態に合わせた献立に配慮した。

⑤ 利用者の摂食嚥下機能の低下による様々な危険（誤嚥性肺炎・窒息・低栄養）を踏まえ、看護師と連携し言語聴覚士から摂食姿勢や食物形態・自助具の工夫や補食を指導してもらい、安全に食事をとっていただく環境を整えた。

８．危機管理

（１）事故防止・対応

事故、ヒヤリハットの統計を分析し事故防止につなげた。

令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月の報告書の内容

項目	件数
ヒヤリハット	件数：　88 件
事故報告	件数：　20 件
分　類	薬ミス：　20 件　転倒・転落：39 件　他害：8 件 器物破損：4 件　無断外出：4 件　その他：33 件
（分析結果・対策） 昨年比でインシデントは微増で、事故報告は 8 件減った。他害が大幅	

に減った半面、転倒・転落が大幅に増える結果となった。その要因としては、高齢化と身体的低下が一因すると推測されるのに加え、把握のミスなど体制上の問題も依然として課題である。また、コロナ禍の中で、一定の制限が掛かった生活状況も鑑みながら、精神的なサポートをしつつ、小さな身体的変化にも気付きを得られる観察力の向上や体制作りが求めらる。

（２）緊急時対応

① 保護者会と連携し災害時用非常食と合わせて、3 日分の水と非常用食料を備蓄している。

② 非常災害時用の救急医薬品、非常用トイレ（1 週間分）、衛生用品を備蓄している。

③ 緊急時伝言ダイヤルの利用方法について簡潔にまとめ、職員・保護者へ周知を図った。

④ 災害時優先電話の登録をしている。

⑤ 避難用滑り台を設置している。

⑥ 非常用ガス発電機及び太陽光発電設備を導入し、停電時にも最低限の照明・空調・厨房設備が使用可能となるように整備している。

⑦ 防犯対策として監視カメラ（屋内外）、モニター付きインターフォン、電子錠を導入し、入退場の管理をしている。

（３）情報漏洩対策

① 個人情報、データ収集等の取扱

個人情報、データについては管理区域を設定し、区域内での管理を徹底するとともに利用に際しても厳重な管理を行った。

② パソコン・ネットワーク管理

パソコン・園内ネットワーク、支援記録システムについてはアクセス制限を設け、情報の重要性に応じた管理を行った。また、管理する情報については常に最新のものに更新されるよう定期的に管理を行った。東京都モデル事業からの ICT 機器の運用に加え、VPN 接続も今期から取り入れることで、リモートワークにも活用出来ている。

③ 障害者福祉サービス費請求事務

障害者福祉サービス費の請求に関しては使用するパソコン、担当者を限定し情報漏えいや請求ミスの発生等を防止した。

（４）特定個人情報管理

① 職員について

法人の定めた特定個人情報取扱規程に基づき事業所における取扱者を選任し、安全管理の再点検、個人番号運用方法を確認の上、従業員等から適切な番号収集を行った。

職　名	氏　名
取扱管理責任者(法人)	事務局長　仁田坂　和夫
取扱責任者	施 設 長　久保田　美幸
取扱担当者	事務係長　田代　崇久

②　施設入所者について

施設入所者の個人番号については、原則として本人、家族、後見人が取り扱う事とした。何らかの理由で事業所において個人番号カード等の保管を依頼された場合は、貴重品保管依頼書に追加記載し、取扱者のみが開けられる金庫に保管している。番号を利用する場合は、選任された者のみが取り扱った。

職　名	氏　名
取扱責任者	施設長　　久保田　美幸
取扱担当者	サービス管理責任者 本田　友則 門倉　志保

（５）新型コロナウイルス感染症のクラスター発生について

①クラスターによる新型コロナウイルス感染症の感染状況について

利用者の発熱者：３１名　・陽性者：２５名（入院者５名を含む）
　　・陰性者：　６名

職員の発熱者　：１９名　・陽性者；１５名（入院者はなし）
　　・陰性者：　４名

②クラスターの発生状況について

・２月２８日に利用者から発熱者が発生し、翌日（３月１日）に新型コロナウイルス感染症の陽性と診断された。

・３月５日までに５名の利用者が陽性となり、保健所よりクラスターと認定され、以降毎日ように利用者・職員の発熱が確認され、陽性者が増加した。

・３月２３日に陽性利用者全員の療養期間が解除され、４月１日までの観察期間が設けられ、陽性者の発生が無かったことから、４月２日に終息となった。

・観察期間等において段階的にフロア毎で活動などを実施した。

・４月４日に通常業務及び利用者の活動等を再開した。

③再発防止対策「感染防止対策の徹底」について

≪職員の感染防止対策≫

・感染「しない」「させない」「持ち込まない」健康管理の徹底。

・業務・日常で三密回避、マスク着用、手指消毒、換気の徹底。

・入浴介助はマスクを着用（黙浴）。食事（黙食）などマスクを外す場面は要注意。

・体調不良等の場合は、無理せず休養または治療し、持ち込まない。

≪利用者の感染防止対策≫

・三密回避、マスクの着用、手指消毒など感染防止対策の支援を継続的に実施。

・健康観察を継続的に実施。

９．防災

（１）自衛消防体制

消防計画に基づき防火対象物自衛消防隊を編成した。

配置等	職　名　・　氏　名
管理権限者	施 設 長　久保田　美幸
自衛消防隊長	主任支援員　門倉　歩
代行者兼副隊長	副施設長　岡　いづみ 支援係長　本田　友則

（２）防災訓練実施状況

月日	想定状況	訓練内容	参加者数		
			利用者	職員	計
4/27	地震・火災想定 避難誘導訓練	指定避難場所への避難誘導訓練	63	32	95
5/25	地震・火災想定 避難誘導訓練	身体保護措置訓練	63	38	101
6/29	地震想定	身体防護措置訓練 消火器訓練	64	38	102
7/27	地震想定	身体保護措置訓練	64	33	97

8/31	地震・火災想定 避難誘導訓練	指定避難場所への避難誘導訓練	65	22	87
9/21	地震・火災想定 避難誘導訓練	指定避難場所への避難誘導訓練	61	33	94
10/26	地震・火災想定 避難誘導訓練（スロープ訓練）	指定避難場所への避難誘導訓練	66	42	108
11/30	地震・火災想定 身体保護措置訓練	夜間想定・身体保護訓練	65	38	103
12/28	地震・火災想定 避難誘導訓練	指定避難場所への避難誘導訓練	65	38	103
1/25	地震・火災想定 避難誘導訓練	指定避難場所への避難誘導訓練	65	40	105
2/22	地震想定	身体防護措置訓練	66	19	85
3/29	地震想定	身体保護措置訓練	63	37	100

（３）「災害時要配慮者を対象とした避難所（福祉避難所）施設利用に関する協定」

平成２４年度、恩方育成園が参加する「八王子市内障害者等入所施設連絡協議会」と八王子市の間で「災害時要援護者等が安心して避難生活を送ることができること（協定第１条）」を目的に、上記協定を締結した。

令和元年 10 月 12 日に台風 19 号の接近に伴い、下恩方周辺が甚大な被害に遭った。その際に当園の多目的ルームを大沢町会の方へ一時的に開放した。その後、法人及び行政との取り決めにより、大沢町会との避難所覚書及び防災倉庫の設置貸与に至り、大沢町会の方が、避難場所へ行くまでの一時的避難場所としてふれあいルームを使用となる。

今年度も引き続き、具体的なマニュアルの整備をすすめるとともに、八王子市より防災用 IP 無線機が配備されている。

１０．家族（保護者）との連携

（１）保護者連絡会実施状況

① 今年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、会場を恩方育成園ではなく八王子市生涯学習センター（クリエイトホール）

で開催した。

② 保護者連絡会が新型コロナウイルス感染症の影響で開催できない月は、必要に応じて保護者会役員連絡会を開催し、要望、ニーズの把握に努めると共に意思の疎通を図り、より良い施設運営と支援サービスの課題の確認とした。

月日	内　容	参加者数
4/10	①利用者動向　②職員動向　③個別支援計画書について　④新型コロナウイルス感染症について　⑤年間予定について　⑥2021(令和3)年度事業計画について　⑦ICT機器導入支援モデル事業について	22名
6/12	①利用者動向　②職員動向　③第三者評価結果について　④フロアの様子　⑤新型コロナウイルス感染症	20名
7/2	※ 保護者役員会　医務室機能変更説明	9名
8/7	①利用者動向　②職員動向 ③令和２年度事業報告　④新型コロナウイルス感染症について　⑤あじさいまつり　⑥健康診断	20名
10/16	①利用者動向　②職員動向　③フロアより④もみじまつり　⑤クリスマス会　⑥八十六人展　⑦新型コロナウイルス感染症　⑧予防接種について	25名
1/22	①利用者動向　②職員動向　③中長期計画について　④フロアより ⑤新型コロナウイルス感染症 ⑥預り金出納帳について　⑦後見人について	16名

（２）機関紙の発行状況

コロナ禍で日中活動参観の実施や定期的な面会ができないため、通常の機関紙に加え各フロアより利用者の活動の様子や行事を伝える機会を増やした。

月	機関紙名	内容
7月	たより from おんがた（7月号）	・活動紹介　・新任職員紹介 ・新型コロナワクチン接種について
10月	たより from 各フロア(10月号)	・各フロアの行事　・花火大会
1月	たより from おんがた（1月号）	・年間行事　・もみじ祭りを振り返り

１１．地域との連携

（１）地域交流

今年度も、新型コロナウィルス感染拡大により感染予防を最優先とし、地域イベント・合同行事の開催が中止となることが多かった。

実施はチームおんがたの担当職員を中心に以下の活動を行った。

① 浄福寺清掃　毎週第２第４水曜日１０時～１１時

利用者２～３名とスタッフ１名で浄福寺の庭の草むしりや落ち葉掃きを行った。

② 地域の山本商店による訪問販売　毎週火曜日・木曜日午前中

個人の嗜好品の購入、買い物支援を行った。

（２）地域関係団体・事業所との連携

新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先とした。

・Web 開催あり。

・とぶき育成園、他法人との交流は見送りとした。

① 八王子市施設長会

出席者：施設長

②八王子市自立支援協議会

出席者：施設長

③ 八王子市内障害者等入所施設連絡協議会

出席者：施設長、副施設長、支援係長

④ 八王子高齢者救急医療体制広域連絡会（八高連）

出席者：看護師

⑤「災害時要配慮者を対象とした避難所（福祉避難所）施設利用に関する協定書」

上記協定書に基づく避難所開設訓練に参加。

⑥ 多摩地域生活支援センター（八王子分場）との連携

八王子市内ＧＨバックアップ施設として、研修の開催・参加の呼びかけを行った。

⑦ＮＰＯ法人八王子ワークセンターと連携

道の駅会議に年に４回参加し、道の駅に週に５回パン販売を行うことで地域福祉団体との地域交流が図られた。

⑧ 障害雇用

「多摩地域生活支援センター（八王子分場）」と連携し、平成２８年度３月より万葉寮利用者（女性１名）の雇用を継続している。

「八王子市障害者就労・生活支援センターふらん」と連携し、平成２７年８月より女性１名を採用していたが、本人より体力面を考慮

し退職の意向有り、令和４年３月に退職している。

「障がい者就労・生活支援センターあすく」と連携し、令和３年８月より男性１名を採用している。

（３）ボランティア・実習生受入れ状況

① ボランティア

ア．ホームページや広報誌にて園の活動紹介と合わせてボランティア募集を行った。

イ．事前に施設見学や活動の注意事項等説明を行い、危険防止や利用者への対応に配慮した。

ウ．利用者の個人情報漏えいを防ぐため、誓約書を取り交わした。さらに、継続的に来園するボランティアについては、ボランティア保険の加入を勧め、安心して活動できるように配慮した。

エ．ボランティア受入状況

※新型コロナウイルス感染防止対策中は中止

理美容　（男性フロア）毎月１回　１～２名来園

（女性フロア）毎月第３木曜日　３名来園

② 実習受け入れ状況

介護等体験

※新型コロナウイルス感染情勢により実施なし

保育実習

保育士養成のための実習

実習開始２週間～１ヶ月前に主任によるオリエンテーションを実施。実習最終日に主任による反省会を実施した。

学校名	実習期間	受入れ人数
草苑保育専門学校	令和３年６月１４日～６月２６日	２名（　女性　）
竹早教育保育士養成所	令和３年７月５日～７月１５日	２名（男性・女性）
こども教育宝仙	令和３年７月２６日～８月９日 令和３年９月１日～９月１４日	２名（　女性　） ２名（　女性　）
白梅学園大学	令和３年８月１６日～８月２８日	３名（男性・女性）
帝京大学	令和３年９月１７日～９月３０日	２名（男性・女性）
武蔵野大学	令和４年２月１日～２月１４日	２名（　女性　）
目白大学	令和４年２月１６日～３月１日	２名（　女性　）

中学生福祉体験

⇒　新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

１２．会議・委員会

（１）会議

①　東京都手をつなぐ育成会

会議名	構成	頻度
施設長会	施設長、副施設長	月１回実施 （8 月除く）
主任係長会	支援係長、主任支援員	月１回実施 5 月 8 月 12 月 3 月除く）
事務担当者会議	事務係長	月１回実施
看護師連絡会	看護師	年４回

②　法定の会議

会議名	構成	頻度
労働衛生委員会	産業医、管理者（施設長）、衛生管理者 委員　専門委員	月１回実施 （報告含む）

③　施設内会議（意思決定プロセス）

③－１共有・気づき・意見

会議名	構成	頻度
フロア会議	主任支援員、リーダー支援員、支援員 ※必要に応じ管理職	月１回実施 （月末週）
日中活動会議	リーダー支援員　支援員 ※必要に応じ管理職	月１回実施 （月初週）

③－２議論・検討・調整・企画・起案

調整会議	主任支援員、リーダー支援員	月１回実施 （第１週）

③－３結論・決定

管理会議	施設長、副施設長、支援係長、事務係長、 主任支援員	月１回実施 （第２週）

③－４合意形成

運営会議	施設長、副施設長、支援係長、事務係長、 主任支援員、リーダー支援員　栄養士	月１回実施 （第３週）

③－５伝達・周知・意思統一

職員会議	全職員	月 1 回実施 （月末週）

④施設内会議（その他の会議）

給食会議	栄養士　施設長　副施設長　支援係長 給食委託業者　必要に応じ支援員・利用者	年 1 回実施
人事考課調整会議	施設長、副施設長、第 1 次考課者 社会保険労務士	年 2 回実施 （10 月 3 月）
地域生活支援会議	利用者　保護者　関係者 実施機関　支援員　管理職等	11 回実施
モニタリング会議	施設長、副施設長、サービス管理責任者、 主任、リーダー支援員、支援員、専門職員	年 2 回 班ごとに実施 （10 月 2 月）

（２）プロジェクト（PT）

プロジェクト名	構成	頻度
標準化（OS） ＩＣＴ	支援係長　主任支援員　リーダー支援員 支援員	月 1 回実施
日中活動	副施設長　事務係長　主任支援員 リーダー支援員　支援員	月 1 回実施
地域移行	副施設長　主任支援員　リーダー支援員 支援員	月 1 回実施

（３）委員会・係等

①委員会一覧

委員会名	構成	頻度
権利擁護・虐待防止委員会	施設長、副施設長、支援係長、事務係長、主任支援員、保護者代表、第三者委員	年 2 回実施 （7 月 1 月）
リスクマネジメント委員会	施設長、副施設長、支援係長、事務係長、主任支援員、グループリーダー（生活・日中）栄養士、看護師、必要に応じ、各フロア担当者、日中活動担当者、事務担当者	管理会議にて実施
研修委員会	リーダー支援員　支援員	年 3 回開催
利用者入所調整	管理会議構成職員に同じ	管理会議にて

検討委員会		実施
リハビリ委員会	主任支援員　リーダー支援員　支援員 看護師　委託 PT	月 1 回実施
口腔ケア委員会 （口腔衛生及び機能維持）	主任支援員　リーダー支援員　支援員 栄養士　委託歯科医師　委託 ST	月 1 回実施
自衛消防委員会	防火管理者　主任支援員　支援員	年 5 回実施

②行事

行事委員会	リーダー支援員　支援員	年 6 回実施

③係一覧

チーム恩方	主任支援員　支援員	月 1 回実施
記録広報・IT	主任支援員　支援員　事務員	年 3 回実施
車両・駐車場	主任支援員　リーダー支援員　支援員	年 2 回実施
環境美化	リーダー支援員　支援員	月 1 回実施
日用品	支援員　事務員	月 1 回実施

④ミーティング

医務ミーティング	施設長　副施設長　支援係長　看護師	月 1 回実施

１３．大会・研修

（１）研修実績

①　東京都手をつなぐ育成会

月日	研修名	参加者
4/5、4/6、4/12、4/14	新任研修	6 名
5/17、6/18, 6/21、10/11	入職２年目研修	8 名
6/30、8/23、	初級中堅研修	6 名
7/6	人事考課研修（中級編）	2 名
9/10、1/21	上級中堅研修	2 名
10/26	自閉症支援研修（オンライン）	4 名
12/14	人事考課研修（基本編）	2 名

計３０名

② その他外部研修

月日	研修名	参加者
6/16	強度行動障害支援　公開講座	1名
7/3	利用者さんが飲んでいる薬を知ろう！	2名
9/2～	東京都強度行動障害支援者養成研修（基礎）	1名
11/17、12/1	リーダー研修　アドラー心理学	1名
11/19	精神保健福祉研修　愛着形成	1名
12/9	都外施設学習会　高齢利用者の支援	2名
12/15	東京都新型コロナウィルス感染防止対策研修	2名
12/16	強度行動障害アドバンス研修	1名
12/17	強度行動障害メディカルセミナー	2名
3/14	福祉職員定着・育成セミナー	1名

計１４名

③ 内部研修

日時	対象	テーマ	講　師
4/1～ 4/16	新任職員 異動職員	新任・異動職員研修	管理層職員
4/16	リーダー層	2：6：2の法則とは	久保田施設長
4/30	全職員	今年度の取り組みについて	久保田施設長
5/21	リーダー層	グループホームってなぁに？ 部下を活かせない上司はマネジメントを誤解している	久保田施設長
5/28	全職員	グループホームってなぁに？ 基本が大事	久保田施設長
6/18	リーダー層	リーダー層研修 ABA 事例報告	リーダー支援員
		部下の可能性を引き出す リーダーシップ	久保田施設長
6/25	全職員	ABA 事例報告Ⅰ	リーダー支援員
		障害理解について	久保田施設長
7/16	リーダー層	ABA 事例報告Ⅱ	リーダー支援員
		アドラー心理学に学ぶ	久保田施設長
7/30	全職員	ABA 事例報告Ⅱ	リーダー支援員
		障害理解についてⅡ	久保田施設長
8/20	リーダー層	ABA 事例報告Ⅲ	リーダー支援員

		問題解決するより問題を起こさないチーム（組織）づくり	久保田施設長
8/27	全職員	ABA 事例報告Ⅲ	リーダー支援員
8/27、10/6、10/14、11/4	全職員	職員研修　口腔ケア研修	歯科衛生士 外部講師
9/1～9/15	新任職員	新任職員研修（中途採用）	管理層職員
9/22	リーダー層	ABA 事例報告Ⅳ	リーダー支援員
		ドラッガーに学ぶチームマネジメント	久保田施設長
9/28	全職員	ABA 事例報告Ⅳ	リーダー支援員
9/28		アドラー心理学に学ぶ	久保田施設長
10/19	リーダー層	ABA 事例報告Ⅴ	リーダー支援員
		リーダーは挫折力を身につけよ	久保田施設長
10/29	全職員	ABA 事例報告Ⅴ	リーダー支援員
11/1～11/25	新任職員	新任職員研修（中途採用）	管理層職員
11/19	リーダー層	ABA 事例報告Ⅵ	リーダー支援員
11/26	全職員	ABA 事例報告Ⅵ	リーダー支援員
12/17	リーダー層	ABA 事例報告Ⅶ	リーダー支援員
		法人事例発表模擬 ICT 機器導入が利用者支援を変える	大塚主任 リーダー支援員 リーダー支援員
12/23	全職員	ABA 事例報告Ⅶ	リーダー支援員
1/21	リーダー層	ABA 事例報告Ⅷ	リーダー支援員
		福祉施設に於けるリスクマネジメントについて	久保田施設長
1/28	全職員	ABA 事例報告Ⅷ	リーダー支援員
1/28	全職員	福祉施設に於けるリスクマネジメント	久保田施設長
2/25	全職員	ノーマライゼーションとは	久保田施設長

④　施設内事例報告会

令和 4 年 3 月 18 日に 12 組がテーマを設定し発表を行う予定であったが、施設内での新型コロナ集団感染の発生に伴い延期とした。

（２）職員育成

①　人事考課

リーダー層の職員が第１次考課者となり、調整会議には、阿世賀社労士を招聘し、重層的な評価になるよう環境を整えている。

後期は施設内での新型コロナ集団感染の発生に伴い、管理会議構成職員が１次考課者の意見を集約し調整会議を開催した。

②　研修委員会

今年度は、プロジェクトチームから研修委員会へと組織体制を変更し、東京都福祉人材センター研修室登録講師派遣事業を活用した内部研修の企画・開催、園内事例報告会の企画を行った。また、職員の啓発活動として、利用者、職員の良いところを見つける「にやりほっとグランプリ」を開催した。

（３）大会参加

新型コロナウイルス感染症対策により中止となっている。

１４．労務管理

（１）職員健康管理・衛生管理者

①　職員健康管理

職員健康診断の実施

定期健康診断（労働安全衛生規則４４条）

実施日：令和３年９月１６日（木）

対象者：週３０時間以上の職員

受診者数：５１名

実施機関：医療法人社団　崎陽会　日の出が丘病院健診部

実施内容：胸部レントゲン・心電図・血圧・検尿（蛋白・糖・潜血）
内科診察・血液検査（血算・血糖・生化学）

②　特定業務従事者の健康診断（労働安全衛生規則４５条）

令和４年３月３日（木）に実施予定であったが、施設内での集団感染発生にともない令和４年４月２８日（木）に延期となった。

対象者：夜勤・宿直従事者

実施機関：医療法人社団　崎陽会　日の出が丘病院健診部

実施内容：心電図・血圧・検尿（蛋白・糖・潜血）内科診察・
血液検査（血算・血糖・生化学）

③　衛生管理者・衛生委員会

衛生管理者　本田　友則

衛生委員会　メンタルヘルス関連の相談の他、地域の医療、感染症等の情報についても産業医を通じて把握を進めた。

月日	参加人数	内容
4/19	6名	3月事業所状況報告　3月健康診断結果 健康企業レポート　感染症対策・情報交換 職場環境改善
6/28	6名	5月事業所状況報告　職場環境改善 感染症対策・情報交換　ワクチン接種
8/30	8名	7月事業所状況報告　感染症対策・情報交換 ワクチン接種　職員動向　介護負荷軽減 衛生委員会だより№.1発行
10/25	9名	9月事業所状況報告　感染症対策・情報交換 職員動向　9月健康診断結果 衛生委員会だより№.2発行
12/14	7名	11月事業所状況報告　感染症対策・情報交換 職員動向
2/28	7名	1月事業所状況報告　感染症対策・情報交換 職員動向　ストレスチェック 衛生委員会だより№.3発行

④　資格所有者育成

今年度、新たに1名の職員が衛生管理者の試験に合格した。

時期	職員名	取得資格名
令和4年1月	リーダー支援員　1名	第2種衛生管理者

（2）ワークライフバランスの推進

働き方改革の施行に伴い、計画年休の取得推進を実施した。時間外勤務に関しては、職員が計画的に実施する習慣を確立できるよう周知徹底した。

（３）次世代育成支援

①　育児休業制度の周知ならびに取得を推進する。

就業規則に合わせて周知を行った。

②　次世代育成支援についての研修を実施する。

今年度は感染症対策により中止している

（４）セクシャルハラスメント・パワーハラスメントの防止

①「セクシャルハラスメントの防止に関する要綱」

就業規則に合わせて、セクシャルハラスメント・パワーハラスメントの研修を行った。

役　　割	氏　　名	備　　考
ハラスメント防止責任者	久保田美幸	施設長（管理者）
ハラスメント受付担当者	岡　いづみ	副施設長
	本田　友則	支援係長（サービス管理責任者）

（５）メンタルヘルス・ストレスチェック制度

①　全体状況

利用者の対応困難事例、感染症対策による危機管理等によるストレスにより、3名の支援員が勤務制限を設けて勤務した。

②　ストレスチェック制度について

実施期間：２月２１日～３月１１日

法人ストレスチェック制度実施規定に従い、上記期間に実施した。期間中、当該の職員に対して受検の勧奨を行った。

③　労働災害等

労働災害　１０月２件

１５．指導監査

（１）八王子市指導監査

実地検査：今年度、八王子市の実地検査はなかった。

集団指導：動画受講方式　3月 25 日受講。

（２）福祉サービス第三者評価

評価機関：一般社団法人 Riccolaob.(リッコラボ)

契 約 日：令和３年８月２５日

報 告 日：令和４年２月１４日

内　　容：障害者支援施設（生活介護・施設入所支援・短期入所）
・職員説明会（映像）
・利用者調査（リモート）
・家族アンケート調査
・職員アンケート調査
・訪問調査（リモート）